

「新たな免疫染色抗体ならびに microRNA マーカーを用いた中皮腫診断法の開発のための多施設共同研究」に係る患者様、ご家族の皆様方へ

当院では「新たな免疫染色抗体ならびにmicroRNAマーカーを用いた中皮腫診断法の開発のための多施設共同研究」を実施しております。

現在、中皮腫の病理組織を用いた診断は、主に形態学的診断と免疫組織化学染色で行われていますが、時に診断に苦慮することがあります。HEG1 は新しく開発された中皮腫マーカーで、中皮腫に特異度が高く、その導入により診断率の向上が期待されます。また、近年有用性の高い遺伝子検査として HEG1 の発現に関わる microRNA をモニタリングすることでさらに診断精度をあげることも期待できます。

調査の対象は、該当期間内（1995年1月1日～2017年12月31日）に当院にて悪性中皮腫と診断された患者さまです。

本研究では、診断後の病理組織検体を用いて HEG1 の発現を免疫染色にて検討し、他の中皮腫マーカーの感度と比較します。また、組織検体より RNA を抽出し、HEG1 の発現に関連した microRNA および関連分子の発現量および検出感度を検討します。

本研究は、すでに採取された検体を用いて行われますので、新たに検体採取や費用など何かをお願いすることはありません。プライバシー・個人情報は厳重に守られます。お名前、生年月日など患者様を特定できる情報が外に出ることは決してありません。

\*この臨床研究に関してご不明な点がある場合、もしくは研究にカルテ情報を利用することにご了解いただけない場合は以下に示す本調査の研究代表者までお問い合わせ下さい。尚、その場合においても患者さんが診療上不利益をこうむることは一切ありません。

当院における研究責任者

〒591-8555 大阪府堺市北区長曾根町1180

国立病院機構近畿中央胸部疾患センター

臨床検査科・病理診断科

笠井 孝彦

TEL:072-252-3021, FAX:072-251-1372

HP 掲載用

研究全体の責任者

〒634-8521 橿原市四条町840

奈良県立医科大学病理診断学講座

(教授)大林 千穂

TEL:0744-29-8910, FAX:0744-29-1460

なおこの調査は病院外の専門家の方を含んだ近畿中央胸部疾患センター臨床試験審査委員会（IRB）における厳重な審査・承認を受けて実施しています。

(当院ホームページに掲載)